

横浜市における自動運転モビリティサービスの実証実験開始に関して
BOLDLY、京浜急行電鉄、日産自動車と合同で記者発表会を実施

株式会社プレミア・エイド(本社:東京都千代田区、代表取締役:吉澤 成一郎)は、横浜市で 25 年度に実施する自動運転モビリティサービスの実証実験について、本日 10 月 3 日に BOLDLY 株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長兼 CEO:佐治 友基)、京浜急行電鉄株式会社(本社:神奈川県横浜市、取締役社長:川俣 幸宏)、日産自動車株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長兼 CEO:イヴァン エスピノーサ)の 3 社と合同で記者発表会を実施しましたことをお知らせいたします。

実証実験の詳細および一般モニターの募集については、[こちらのリリース](#)をご覧ください。



以下、記者発表会よりコメント要約

＜当社 代表取締役 吉澤 成一郎＞

「当社は、“命を繋ぐオペレーション”と迅速な“情報を繋ぐソリューション”を提供するアシスタンス事業会社です。さまざまな現場で助けを求めるお客様に、もしもの時の安心をお届けしています。

当社の事業は、緊急時における迅速な対応を通じて、お客様が困難な状況に直面した際、お客様の立場に立ち、寄り添いながら素早く対応するため、独自のオペレーション方法を採用しています。特に、映像を活用したオペレーションは当社の大きな強みです。

昨今、ドライブレコーダーやスマートフォンといった映像機器の普及により、当社はこれらの映像を最大限に活用し、現場の状況を迅速かつ正確に確認しながら、必要な情報を救助機関に的確に共有するオペレーションを展開しています。この取り組みは、今回の実証実験に当社が参加した主な理由の一つと考えています。

緊急対応の経験を持ったオペレーターが、タイムリーに自動運転車両を監視することで、状況を的確に把握し、可能性のあるリスクを早期に認識し、必要な対応策を講じることができます。このプロセスは人の経験を加えることで、より柔軟かつ迅速な対応を実現できると考えております。

私たちは、この体制を通じて自動運転車両の普及を促進し、交通事故のリスクを減少させ、社会全体の安全性の向上に貢献していきます。

横浜みなとみらい地区では、未来の技術を社会に実装する取り組みが活発に行われています。今回の実証実験も、単に便利な乗り物を作るだけでなく、都市の交通課題を解決し、より持続可能な社会を築くための重要な挑戦です。

ここで働き、学び、暮らす人々だけでなく、国内外から多くの人々を惹きつけるこの街のように、私たちも多様な企業と交流し、新たな価値を生み出す挑戦を続けて、安心・安全な自動運転の未来を第一に考え、自動運転サービスが交通インフラの課題解決に貢献できることを期待しています。

そして、業界のサービスにさらなる付加価値を加え、共に未来を創るパートナー企業の皆様と、新しいモビリティサービスを築き上げていけるよう努めてまいります。」

【本件お問い合わせ】

株式会社プレミア・エイド 広報担当

TEL: 03-5213-0850(代表) / 平日 9時~18時

E-mail: info@premier-aid.co.jp

<https://www.premier-aid.co.jp/>